

●指揮● 手塚喬之 (てづかたかゆき)



東京都小平市出身。小平市立小平第三中学校で吹奏楽、トランペットに出会う。

尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科卒業。トランペット専攻。

大学卒業後、フリーランスとして活動開始。

トランペット奏者として東京フィルハーモニー交響楽団などに出演。同時に指揮者としての道を歩み始める。

2022年～和田一樹氏のアシスタントコンダクターを務める。

オペラ「トスカ」にて副指揮者、合唱指揮を務め、以降オペラでも活動中。

そのほか指揮者としてオーケストラ、オペラ、弦楽合奏、吹奏楽、合唱指揮、舞台合唱指導など幅広く活動している。

現在Lier吹奏楽団音楽監督、アンサンブル法を崎谷直人、指揮法を曽我大介、和田一樹の各氏に師事。

●ソプラノ● 文屋小百合 (ぶんやさゆり)



国立音楽大学卒業、同大学院オペラコース及び二期会オペラ研修所修了。第3回東京音楽コンクール第1位受賞。二期会「ポップエアの戴冠」ポップエア、同「ジュリアス・シーザー」クレオパトラ、新国立劇場「セルセ」アタランタ等数多くのオペラに出演。また二期会及び西本智実プロデュース南座オペラ『蝶々夫人』タイトルロールで出演する他、二期会創立60周年記念公演『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、二期会〈三部作〉『外套』ジョル

ジェッタ、『修道女のアンジェリカ』タイトルロールで好評を博す。コンサートでは、モーツァルト「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、ベートーヴェン「第九」等のソリストとして、主要オーケストラとの共演を重ねている。また、ヴァチカン国際音楽祭にて、西本智実の指揮のもとヴェルディ「レクイエム」のソリストとして出演。二期会会員

●メゾソプラノ● 相田麻純 (あいだますみ)



東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程および博士後期課程の音楽研究科オペラ専攻を修了し、博士の学位を取得。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞および同声会賞受賞。第12回東京音楽コンクール第3位、第77回日本音楽コンクール入選。明治安田クオリティオブライフ文化財団の奨学生としてイタリアに留学。ロッシーニ《セヴィリアの理髪師》ロジーナ役、プッチーニ《蝶々夫人》スズキ役などのレパートリーを持ち、モーツァルト《フィガロの結婚》ケルビーノ役などのメゾ・ソプラノの醍醐味ともいえる男性役も得意としている。宗教曲においては、ヘンデル《メサイア》、バッハ《ロ短調ミサ》、モーツァルト《レクイエム》、ロッシーニ《スターバト・マーテル》、ベートーヴェン《第九》、メンデルスゾーン《賛歌》、ヴェルディ《レクイエム》、ドヴォルザーク《レクイエム》、マーラー《復活》など数々の作品においてソリストを務め、深く艶のある声には定評がある。洗足学園音楽大学および桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

モーツァルト《フィガロの結婚》ケルビーノ役などのメゾ・ソプラノの醍醐味ともいえる男性役も得意としている。宗教曲においては、ヘンデル《メサイア》、バッハ《ロ短調ミサ》、モーツァルト《レクイエム》、ロッシーニ《スターバト・マーテル》、ベートーヴェン《第九》、メンデルスゾーン《賛歌》、ヴェルディ《レクイエム》、ドヴォルザーク《レクイエム》、マーラー《復活》など数々の作品においてソリストを務め、深く艶のある声には定評がある。洗足学園音楽大学および桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

●テノール● 坂口義行 (さかぐちよしゆき)



東京藝術大学声楽科卒業。幼少期に祖父母の勧めで詩吟を始め、東京の聖鳳流吟詠会では「範士」の段を有するも高校で合唱と出会い西洋音楽の道へ。小澤征爾氏による若手音楽家育成オペラプロジェクト「小澤征爾音楽塾」や東京オペラシンガーズの一員として様々な舞台に出演。小澤征爾、リッカルド・ムーティ、ズービン・メータ、チョン・ミョンフン、ファビオ・ルイーギ、ダニエル・ハーディング等名匠の指揮の下、オペラ公演・オーケストラ公演など多数の舞台にコーラスとして参加しその音楽性を学ぶ。これまでにバッハ「ロ短調ミサ」「クリスマスオラトリオ」「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、モーツァルト「レクイエム」、ロッシーニ「小荘厳ミサ」等、宗教曲のソリストとしても活躍しそれぞれに好評を得る。声楽を故鈴木寛一氏に師事。

●合唱指揮● 柳嶋耕太 (やなぎしまこうた)



合唱指揮者。ドイツ・ザール音楽大学指揮科卒業。2015年にドイツ音楽評議会・指揮者フォーラム研究員に選出され、ベルリン放送合唱団、北ドイツ放送合唱団をはじめとするドイツ国内各地の著名合唱団を指揮。2017年秋完全帰国。以来、vocalconsort initium、室内合唱団vox alius、横浜合唱協会をはじめとする多数の合唱団で常任指揮・音楽監督を務める。オルケストル・アヴァン＝ギャルド、プロムジカ使節団などの新進気鋭の古楽オーケストラとも指揮で共演するほか、(株)コーラスカンパニー主催の合唱指揮講座講師を務めるなど後進の育成にも力を入れる。合唱指揮をゲオルク・グリュン、指揮を上岡敏之の各氏に師事。ヴォーカル・アンサンブル カペラ、エマルシオンなどに所属するアンサンブル歌手としても活動を拡げる。

●バリトン● 高田智士 (たかださとし)



国立音楽大学声楽科卒業。同大学院、新国立劇場オペラ研修所修了。

その後2008年より2012年までドイツに留学、Akademie für Tonkunst Darmstadtの演奏家コースオペラ科を優秀な成績で修了。また現地にて、多くのオペラや演奏会に出演、地元紙に取り上げられるなど好評を博す。

これまでにモーツァルト「ダ・ポンテ三部作」主要キャスト、「魔笛」パパゲーノ役、「愛の妙薬」ベルコーレ役、「椿姫」ジェルモン「夕鶴」運ず等、50

を越える役を演じてきた。二期会オペラでは「金閣寺」鶴川役、「椿姫」ドゥフォール役、「フィガロの結婚」フィガロ役、「午後の曳航」4号役などを好演。

また2021年よりドイツ歌曲デュオリサイトを毎年開催、造詣を深めている。二期会会員